

ドクター・ポストドクター ワークショップ

Considering

日本語 から

WORLD LITERATURE

from Japanese

Language

世界文学 を

2022 年 7 月 6 日

考える

16:30 ~ 19:00

立命館大学衣笠キャンパス 洋洋館 402

(オンライン併用)

発表

宮田絵里／森祐香里／金昇淵／岡崎享子

ディスカッサント

中川成美／西成彦／三須祐介／(中井祐希)

主催 立命館大学国際言語文化研究所モダニティ研究会

共催 JSPS 科研費「世界文学と日本文学—情動理論の共有を基礎として」

(基盤研究 (C) JP 20K00532)

This work was supported by JSPS KAKENHI Grant Number JP. 20K00532

2000 年代以降、急速に注目される文学概念として、「世界文学」というタームがある。本ワークショップでは、その概念をとっかかりとして、日本語がどのように「世界文学」という概念と融和・拮抗・対峙・攪乱していくかを、本学の博士課程院生、ポストドクターを中心とした若手ワークショップとして、具体的な日本語文学から探ろうとするものである。

・ 16 : 30 趣旨説明（栗山 雄佑）

・ 16 : 45 宮田 絵里 （文学研究科日本文学専修 博士後期課程）

高橋たか子とフランス—「亡命」する身体

・ 17 : 10 森 祐香里 （文学研究科日本文学専修 博士後期課程）

世界文学から考える野間宏初期作品における〈肉体〉

—野間宏「肉体は濡れて」「地獄篇第二十八歌」から—

・ 17 : 35 岡崎 享子 （文学研究科現代東アジア言語文化学専修 博士後期課程）

金時鐘の「生理の言語」と「在所」

・ 18 : 00 金 昇淵 （文学研究科日本文学専修 博士後期課程）

「越境（者）」の対象化に潜む包摂——多和田葉子「ゴットハルト鉄道」

・ 18 : 30 ラウンドテーブル・ ディスカッション

中川 成美・西成彦・三須祐介（司会：中井 祐希）

●オンラインでの参加を希望される方は、以下のアドレスより zoom に参加をお願いいたします。

<https://ritsumeai-ac-jp.zoom.us/j/91092846664?pwd=UWhXSTMxRExMdlFVK2VRZU1FcnJBQT09>

ミーティング ID: 910 9284 6664

パスコード: 873687

